



Title	一九二四年ライプチヒの春季市
Author(s)	今野, 秀輔
Citation	商業と経済, 5(1), pp.242-248; 1924
Issue Date	1924-07-01
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10069/26804">http://hdl.handle.net/10069/26804</a>
Right	

This document is downloaded at: 2020-10-27T20:43:40Z

## 一九二四年ライプチヒの春季市

今野秀輔譯

資本の缺乏。物資の大需要。

各部の新模型。希望樂觀。

三月二日より八日迄今年度の定期市がライプチヒに開かる。この春季市が獨逸の商工業界にのみ許りでなく其隣國或は全世界の經濟界に、獨逸貨幣價值の安定により一般の希望及期待に適應して、必需品の事業が再び活況を呈するか否やの問題を解決する一端ともならう。殊に此定期市は獨逸經濟界のバロメーターであると共に商品販買者として市場に關係する數多の商人が商界を卜知する寒暖計であるともいはれやう。市場が如何なる状態にあるか又目下獨逸の經經界が如何に反影するか實業家にして指導的立場にある人々の意見

の概要次の如くである。

### 商店及百貨店

商店並びに百貨店の代表者にして市場事務所監視議員たるゲー・バッハ氏は先づ商品の需要大なるに反し、資金の缺乏せるを指摘しつつあり、此度のライプチヒの春季市は内地商業に於て資金の拂底せる状態にあるのは疑ふの餘地なく、又一部外國に於ても、資金の缺乏を告げつつあるは顯著なる事實にして、又一方合衆國の如きは、資金の過剰を來しつつある事も衆知の事柄である。又目下多數の米國人が獨逸に存在するを以て、購入のために市場を訪づれる人も米國より多數來る見込である。獨逸の購買者も多數の委託品を處理す

る爲に市場を見舞ふであらう。小賣品の販賣は過去の十二月、一月に於て大變満足すべき状態にあつたから、奢侈品や家庭日用品の倉庫を補充する需要も必要である。各種の經濟方面の缺陷は漸次補充せねばならぬ。膨脹時代の數年間は家計上新たに購求する選擇の範圍も不十分ながら計劃せらるゝ事故經濟上其

缺陷も大であつたのである。最近貨幣の價値も安定を見たるにより消費者側に新たに購入せんとする勇氣も與へられた。これは價格も見えすく様になり購賣しうる可能性を有するが如く思はれたからである。併し必要なる程の新規買入をなすには破滅的な即ち俸給や勞金を制限するの止むなきに至りし結果現在の資本にては十分でないことが立證さる。需要は依然として今猶古の如くであるが、之を補填する資金に乏しいのである。小賣は信用保持を旨とし顧客の信用を重んずるも、小賣業者即ち供給者側よりも同様に信用を要求しうべきものなり。即ち支拂物の權利を獲得しおく

必要あり。若し只この可能性又は商行爲の善意が存するなら内地の商取引は満足に行はるべし。苛酷なる支拂條件は避けねばならぬ。又供給者並びに購求者の雙方の立場を顧慮する便法を發見せざるべからず。

## 織物

市場事務所名譽代表者にしてグラス織物組合員バウル・トレッセル氏は織物商の感想を次の如く述べた。

各種織物の内地の殺倒的需要を充す事は疑もなく満足すべき商氣を促し信用關係も一層緊密になるに至るべし。原料の原産地國より交附さるゝ信用につきては實業家及政府の努力を望む次第である。又數多の輸入上の困難を軽減する事は内地の顧客に對し、需要を充たすに好機會を與ふると、同時に輸出界にとりても輸出上の各般の制限を緩和する上に容易となるだらう。

織物市場の外観は新織物部家屋は、世界最

大の専門的市場の建物と申すをうべき程の建物なれば、此度は特に異彩を放ちてゐる。この新家屋は上部より下部迄満員にて已に定期市事務所並びに、共益織物組合員は織物市を更に延長せんとするの報告に屢接してゐる。

又同一商業でも専門部の部門が市場に多ければ多かる程人目にも觸るゝ道理故、過去の經驗に徴しても現今迄加入せぬ特殊のもの例へば紳士並びに婦人用出來合洋服の如きものが市場に現はるゝならば益良好なる結果をうるだらう。

工業部にも織物機械類の市あるを望む。織物工業部を見る人々は此部門を等閑に附する様なこともあるまい。外國人にとりては一部他國の低廉なる提供品ありても優良なる品質を有する獨逸品に好意を有するに至る譯なれば、眞實の顧客は素通りする事なきは確かなる事である。

## 玩具

モーツツ商會(紙人形玩具類販賣)の共同主にして市場名譽代表者バツペ氏の玩具業の豫想を發表せしを見れば有望なり。吾人は物價騰貴に降會しあれば外國人は價格に於てのみならず輸出に於ても利益あれば我等より購入すべし。又獨逸の購買力は乏しきを以て、從來より外國の購買者を要す。玩具の輸出は第四位若くは第五位にあるを以て悲觀の要もなし、獨逸の倉庫は數年に互る購入制限と活況を呈せるクリスマス販賣とにより全く空乏を告げたる故に輸出を計るには先づこの倉庫を充たさねばならぬ。許多の玩具工場は將來を慮り十時間労働に復歸せしを以て、ライプチヒの定期市にても此時間制を保たれやう。

## 陶器及窯業

陶器工場株式會社の社長フェリクス・シンガー氏は窯業の内外貿易につき注目するに足る意見を述べ。

馬克の價格安定の結果内地に於て購買力の

増加せしは勿論、購買慾は益旺盛となりし事を推察しうる。夫故に吾人は内地商業に於て一九二四年の春期市の結果は満足すべきもので又確かに前年兩度の初の時よりも遙に良好なるものといふを憚らない。只外國貿易に就ては同様であるといふ豫斷は成立しまい。何故といふに多數の目下在獨中の外國人より、倉庫内のあらゆる商品の價格を低落して、市場に販賣するに非ざれば購入せざるべしとの言を再三耳にしたからである。此價格低減の事を期待せられしは合衆國及び其他亞米利加諸邦の商業會議所及領事の如き在獨の商業代表機關により詳細本國に報道せられしに起因す。其理由は勞金等は戰前のそれに比し高價ならざるのみか一部低廉なる賃金の支拂はれ居れば價格低落は當然可能の事といふ根本原則に出でたのである。併し是等の代表機關は鐵道及内地航路の稅率が實に戰前より高價にして八時間勞働制の結果戰前の二倍以上に經營費の嵩むことを看過してゐる。

又陶器商の如き一部は外國産の原料を使用し此原料は戰前の數倍の價格に相當することを沒却してゐる。夫故に價格低減の根據は事實上ないのである。

數年來他國と反對に我國にては反實業的——ともいふべき財政策が行はれ居ることを余は指示しうる機會を度々經驗してゐる。それは鐵道の強制的賃率政策に於て、又生産稅の如き營業資金の最後の一錢迄も引き抜き以て、産額の制限を加へんとするに至るが如きものである。然るに他國に於ては只に輸出賃率あるのみならず、統治の行届ける諸邦は二三十年已に貿易促進課を商務省に設け外國と競争する場合に輸出貿易奨勵金を與ふる等により斯界の發達を促しゐる、かゝる事は獨逸にあるを知らぬ。重要地の大商業團の訴願も此の賃率政策を根本的に變更せしむるをえざる故に、若し黨業のみならず其他の商業が貿易の一部を失ひ又失はんとしつゝあるは此政策の缺陷であらねばならぬ。又一層痛切に感ぜら

るゝは、外國の顧客より約定金を高めたる爲め陶窯業に於て佛國の同業者は歐洲貿易の諸國を吾等の手より奪取し佛國の利となりしが如き事にして生産妨害の税制政策である。

## 皮 革 品

マツク・スカイン商會の持主ミュンヘンの皮革及旅行用具商の會長南バワリヤ皮革品製造工業組合長マツクス・カーン氏春季市に關し次の如く陳べたり。

皮革品業者はライプチヒの見本として第一階級の出品物たらしめんと以前より努力しつゝあり、又膨脹時代の困難あるに拘はらず此市には工業並びに藝術上其發展を期待さる、吾等の貨幣値の健全は今日事實上只良質の商品のみ造らるゝに至つた。内外國の顧客は獨逸の實業界の戦ひ來りし殊特の困難を顧念しないだらう。彼は只價格と品質との絶體的競争資格を要求する。皮革品業は此要求には十分の用意あり。種々なる品目に於て微細なる

皮革品は象牙銀又は他の金屬の如き高價の材料と調和を圖り藝術的に高尚に製造せられあり。所謂懸念買の時代は過ぎ去り内外の顧客は良貨を以て逸品を購ふ時である。倉庫は充満し工業家は計算を嚴にし、時代に適應する價格を定めんと努力しつゝあれば春季市に對する見込は良好である。

## 書 籍

ライプチヒ獨逸書籍取引組合長、宮中顧問アー・マイネル博士は圖書出版及書籍商の春季市の豫想を良好なりと判断せり。

圖書商の許多の報道により察知すれば市場の商賣は甚だ大なる利をあげつゝあり。讀書界の人士の訪問は一層有利なる結果を見ん。貨幣價値の崩落時代には動搖に伴なふ危険のため利益を擧ぐることは、期待しえぬ故新出版物は殆ど發行を躊躇せられた。其後事態良好になるにつれ新出版物の提供多くなつた。此出版物が一部市場に表はれたれば、書籍に

とりては此市は頗る意義あるものとなつた。又新産物も戦前の如き良質のものになつた。此市は獨逸書の現在定價の査定には影響する所あらう。書籍商は平均全世界上の購買方の減退せるを顧慮して、實際製造費の増額にも拘はらず平和時代の價格と可成り接近せしめてゐる。外國に於ても同様なる條件の許に作業しつゝあり。併し幾何の程度迄價格が問題さるゝ讀者と一致するかに非ずして、如何なる程度迄出版業者が販賣を促進しうるかを示さねばなるまい。購買慾の旺盛は望みうべきも如何程此讀書界が多量の購入をなす爲十分の資金を處理するかが問題である。茲に又考慮すべきは廉價にて購求し得し時代より騰貴時代の間倉庫は數倍充實され居り其積荷の取出しが到處未だ十分に行はれぬ事である。

## 諸機械類

ホッフマン商會主フレット、ホフマン氏復興せる機械工業につき次の如く言明せり。

一九二四年ライプテヒの春季市

經濟界動搖の時代はタイプライターの使用者より起れる幾多の要求を満足せしむべく獨逸の諸機械商は春季市に從來より一層の努力をなすに至らしめた。諸機械の漸進的發展は一九二三年伯林寫字臺展覽會以來不明なれども、併し此春季市が獨逸工業家に與ふる觀察は蓋し不良のものではない、獨逸の寫字臺機械工業は依然として良品を與ふる様努めねばならない。これ對外貿易を促進しうる所以である。夫故に一九二四年の春季市は殊に諸機械工場主にとりて、時代の要求に應じうる新品を工夫し提供しうるに至る様な幸運に向ふだらう、弊館にては卓越せる工業製作品となるべき最新の模型數點を出品する。

## 光學工業

ドレスデンのエルネマン、ウエルケ株式會社々長ハイネ氏は現時多數の國家と競争せねばならぬこと及び奢侈税を最惡の税との意見を陳述す。

二四七

出品者の選ぶべき重要な事は數量に非ずし  
て品質であらう。購入者の數は、多數なるべ  
きも其購買總額は到る處満足すべきものか否  
やは豫言を許さない。外國の諸購入者は金貨  
マークに兩替せし時如何に昔日に於て物品を  
廉價に求めたりしかを認め又多數の國が、我  
等の全馬克に比し廉價國と見做され居る故に  
諸般の賣買契約完了の時、此事を著しく感ず  
るだらう。吾人は現今多數の國即佛蘭西、伊  
太利、丁抹及諾威等の全競争者が、種々の商  
品の價格低落につれ、吾人が供給しうるより  
も廉價に世界の市場に供給しうる事を考ふべ  
きである。出品者にとりて一方多量の註文を  
うけても金融の缺乏は大困難の事であらう。

輸出業の大なる信用を設定する様努むること  
は賢明なる經濟政策の議題なれども、輸出額  
を戦前の位置に擧げんとする諸般の努力は大  
部分失敗に終るだらう。種々の物品例へば寫  
眞用カメラに奢侈税を課するが如きは不幸な  
る結果を見る賣價の十分の一に引きあげられ

たる此税金は其作用に於て國家にとりて收入  
とはなり得まい。その結果たるや貧窮せる獨  
逸に於て斯業の中絶を來すに至り、世界市場  
に其相手を見ざりし程に繁榮せる此輸出貿易  
は此惡税により有力なる營業所も其投資を三  
分の一乃至四分の一に收縮し、小經營家は全  
く閉鎖するの止むなきに至りたり。又此奢侈  
税は間接には以前微々たりし外國の競争者に  
低廉なる價格のため、世界市場に於て恐るべ  
き競争者たらしめ獨逸の對外貿易の先占特權  
を放棄せねばならぬ如き危險が發展しつゝあ  
るのである。奢侈税は或意味に於て工藝品に  
對し罰に該當するのである。